

# 東京都大田区における「多言語避難者登録カードを活用した外国人受入のための防災訓練結果(概要)」

- ◎ **開催日時**：平成30年11月11日(日)
- ◎ **開催場所**：大田区立新宿小学校
- ◎ **参加者**：大田区在住・在勤・在学の外国人および、災害時外国人支援ボランティア講習会受講者 計30名

## 取組の概要

国際都市おおた協会では、地域の小学校を会場として、小学校区内の5町会の協力を得ながら、自治会の防災訓練に合わせた形で、災害時における避難所での外国人受け入れ訓練を実施した。

訓練は、災害時外国人支援ボランティアによる通訳が置かれ、外国人でも参加しやすい形になっている。また、クリアが作成している多言語避難者登録カードを活用し、外国人受け入れのシミュレーションが行われた。

## 訓練の内容

### ①聞き取り訓練

体育館において、災害時外国人支援ボランティアが多言語の避難者登録カードを活用し、外国人避難者の受け入れと状況聞き取りを行う。

### ②開会式

自治会の参加者と合同で開会式に参加。  
(災害時外国人支援ボランティアによる通訳付き(英語・中国語))

### ③講師(地域国際化推進アドバイザー)によるお話し

災害時における外国人支援について

- ・ボランティアに必要なこと
- ・外国人が知っておくべきこと 等



避難者登録カードを活用した聞き取り訓練の様子

## 訓練の内容 (続き)

### ④自治会訓練への参加

- ・起震車体験
- ・煙体験
- ・AEDの使い方
- ・消火器訓練 等

### ⑤バケツリレー

自治会の方々と合同でのバケツリレー

### ⑥炊き出しの配布



煙体験の様子

### バケツリレーの様子



## 取組の成果

- ★ 参加した外国人の方は話せる言語は母国語のみの方がほとんどだったので、ボランティアの方にとって、多様な文化・年齢・教育背景の方々に伝わる表現や対応を実践を通して経験する貴重な機会となった。
- ★ 普段防災について学ぶ機会が少ない外国人たちが、いろいろな体験を通して様々な角度から防災について楽しみながら学ぶことができた。
- ★ 自治会の訓練と合同で実施することにより、外国人が地域との関わりを持つことができ、地域の自治会の方々にとっても外国人と接するとても良い機会となった。